

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

侵襲性肺炎球菌感染症由来のムコイド型耐性肺炎球菌（PRSP）に関する研究

【目的】

肺炎の主な原因菌である肺炎球菌の中でも特に病原性が高く、ワクチンの効果が乏しい「ムコイド型の肺炎球菌」について、侵襲性肺炎球菌感染症から分離される当該菌を全国規模で収集し、薬剤耐性化の状況を調べ、世界の菌株と比較するため分子疫学解析（耐性遺伝子検索等）を実施すること、および肺炎発症例の予後を左右する因子を明らかにすることを目的として行います。

【対象】

2018年3月までに侵襲性感染症が疑われ、当院で実施した検査結果よりムコイド型肺炎球菌が起炎菌と推定された患者さん

【方法】

血液、髄液、胸水などから該当する肺炎球菌が検出された際、検査で使用した菌株の残りを匿名化し、採取日や年齢、性別等を記載した送付票とともに慶應義塾大学医学部感染症学教室へ郵送します。送付された菌株は、耐性遺伝子検索等が行われ、その結果は当院へ報告されます。その後、当院研究担当者が診療記録より診療情報を調査票へ記入し、メールまたはFAXにて慶應義塾大学医学部感染症学教室へ送付します。送付された情報と菌株は慶應義塾大学医学部感染症学教室で管理・保管され解析を行い、学会発表や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、入院時血液検査値、診断名、バイタルサイン、基礎疾患、発症環境、入院時担当診療科、初回使用抗菌薬、重症度、肺炎球菌ワクチン接種歴、転帰、退院日 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2018年3月31日まで

【研究組織】

研究責任者：慶應義塾大学医学部 感染症学教室 諸角 美由紀

分担研究者：長崎大学医学部 迎 寛（調査票による予後因子の解析）

倉敷中央病院 呼吸器内科 石田 直（調査票による予後因子の解析）

*この研究は公益財団法人日本化学療法学会からの委託研究事業として、国内約300の施設で実施される予定です

【当院の研究責任者】

検査部 千葉 泰彦

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町56

電話 045-331-1961（病院代表） 検査部 笹原 洋好

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。